

## 事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 四国中央市立豊岡小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第1学年～第6学年 全校161名
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体 育 ）</p> <p>② 行事名（                    ）</p> <p>③ その他（ 学級活動 ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（                    ）</p> <p>② その他（                    ）</p>
4 目 標 （ねらい）	<p>○ オリンピック選手である土佐礼子選手の競技経験から、目標に向かって努力することのすばらしさやオリンピズムについて学ばせ、主体性や向上心を育てるとともに、スポーツに対する興味・関心を高め、積極的に運動に親しもうとする態度を育てる。</p> <p>○ 土佐礼子選手といっしょに走ることにより、走る楽しさを味わわせる。</p>
5 取組内容	<p>1 「土佐礼子選手の講演会・実技指導」</p> <p>アテネオリンピック女子マラソン5位入賞など、オリンピックや世界選手権のマラソンですばらしい成績を残し活躍された愛媛のオリンピック選手である土佐礼子選手を招き、全校児童が講演を聞き、走り方の実技指導を受けた。</p> <p>○ 講演会（全校児童・教職員・保護者の希望者が参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVD視聴（土佐礼子選手の紹介）</li> <li>・ 土佐選手の子どもの頃や陸上競技を始めた頃のこと</li> <li>・ オリンピックや世界選手権を目指し、参加したこと</li> <li>・ 子どもたちに伝えたいこと</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>



○ 実技指導

- ・ 準備運動の仕方
- ・ 動きづくりや走るフォームについて



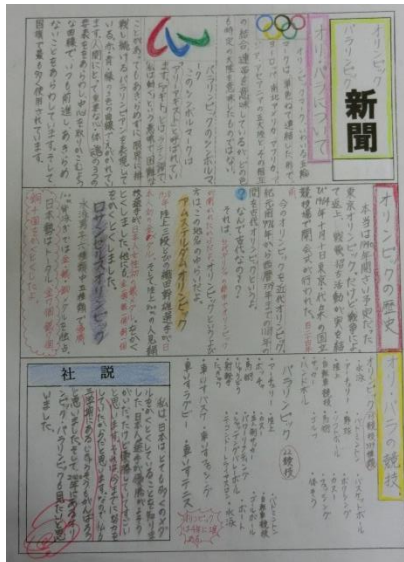
動きづくりの実技指導

2 各学年の事後指導

土佐選手から学んだ後、各学年で感想を話し合い、学級活動で学習したことをまとめたり、オリンピックやパラリンピックについての学習をしたりした。

○ 学年の取組の例

- ・ 1、2年・・・講演や実技の感想を書いた。
- ・ 4年・・・・・・パラリンピックについて調べ学習をして各自でまとめた。
- ・ 6年・・・・・・オリンピック・パラリンピックについて調べ、新聞作りをした。



6年生が作成した新聞

6 主な成果

- ・ オリンピックで活躍した土佐選手に会って直接、話を聞いたり指導を受けたりしたことにより、子どもたちは、オリンピックやトップレベルのスポーツの世界を身近に感じ、関心を高めることができた。土佐選手は、講演会の開始前に各教室を回ってくださったので、一層親しみをもつことができた。
- ・ 土佐選手が、自らの体験を通して言えることとして、夢や目標をもって地道に努力を続けることの大切さを強調して語ってくださったことで、目標や努力の大切さを学ぶことができ、ねらいとしていた主体性や向上心を育てることにつながった。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実技で準備運動の仕方や動きづくりなどを教わり、以後の体育学習に動きを一部、取り入れて継続したことによって、学んだことを効果的に生かすことができた。</li> <li>• 土佐選手の来校後、各学年でオリンピック・パラリンピックに関する学習の取組を通して、子どもたちの関心が高まり、成果があった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校は、健康教育に力を入れてきた伝統があり、毎朝全校で朝マラソンするなどの取組をしている。しかし、新体力テストの結果は、全学年とも低い傾向にあり、体力向上は大きな課題となっている。今回の事業で、愛媛県内のオリンピック選手である土佐選手を招聘することにより、日常的に取り組んでいる朝マラソンやその他の体力向上へ、大きくつなげていけると考えた。</li> <li>• 講演会の開始前、土佐選手に全校の各学級を訪問していただいた。少しの時間であったが、子どもたちにとって、自分たちの教室にオリンピック選手が来るということは、大きな喜びであった。</li> </ul> <div data-bbox="679 826 1126 1211" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 講演会は、保護者にも案内状を出し、希望される方に参加していただいた。保護者や家庭にもオリパラ教育に関心をもっていただくことにつながった。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当初、実技は運動場で実施する計画であったが、雨が降り出したため、体育館で行った。何とか活動できたものの、全校で活動をするには、体育館だとスペースがやや狭かった。運動場であれば、いっしょにトラックを走る予定だったが、できなくて残念であった。</li> <li>• オリンピック・パラリンピックについての調べ学習については、教科との関連を図りながらもう少し計画的に行い、成果が上がるようにしたい。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細は未定であるが、本年度の実践を土台に、東京オリンピックの年となる来年度は、子どもたちがいっそうスポーツや運動に対する意欲を高めることができるような取組を検討したい。</li> <li>• 調べ学習については、テーマを工夫したい。オリンピックに関する人物で子どもたちの心を動かせるような話題に焦点を当てた学習も実施したい。</li> </ul>

